

全部終わったら小1へ！

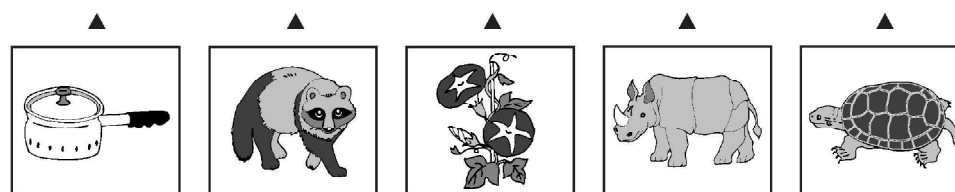
年中・年長児のための総合知能開発ワーク

「ぐんぐん」

3号

したの ことばは どの もじで はじまりますか。—— で おすびましょう。

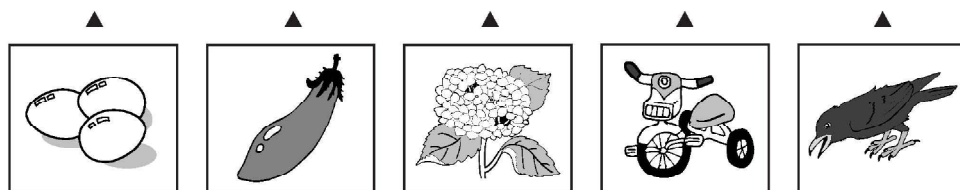
な た さ か あ



ぐんぐん 3-1 なまえ ()

したの ことばは どの もじで はじまりますか。—— で おすびましょう。

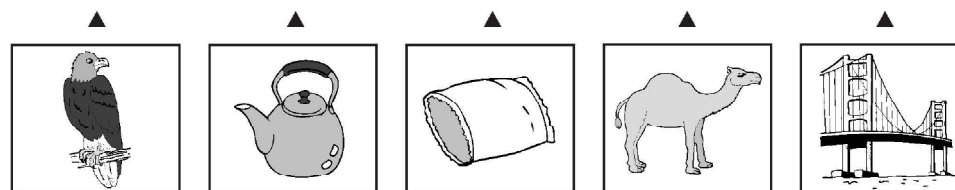
な た さ か あ



ぐんぐん 3-2 なまえ ()

したの ことばは どの もじで はじまりますか。—— で おすびましょう。

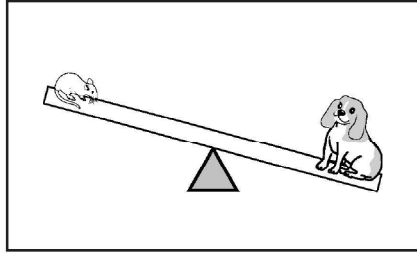
わ ら や ま は



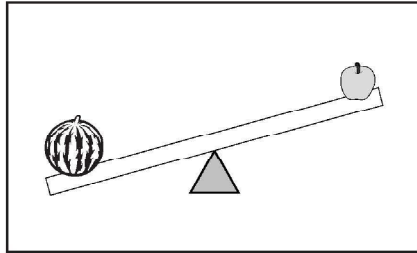
ぐんぐん 3-3 なまえ ()

おもい ほうに ○を つけましょう。

(1)

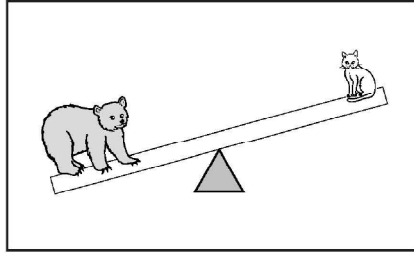


(2)

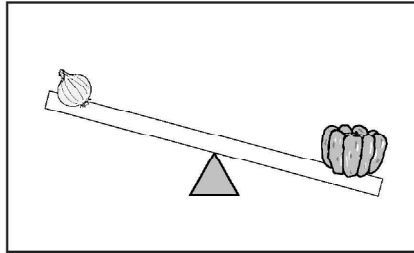


＜ん＜ん 3-4 なまえ（

(3)



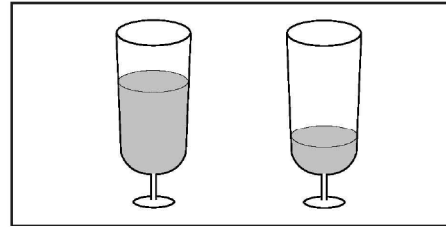
(4)



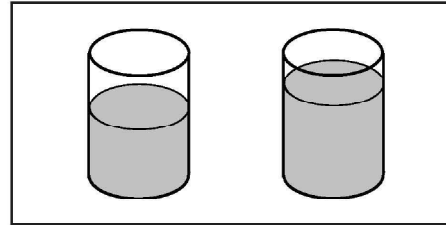
)

りょうが おおい ほうに ○を つけましょう。

(1)

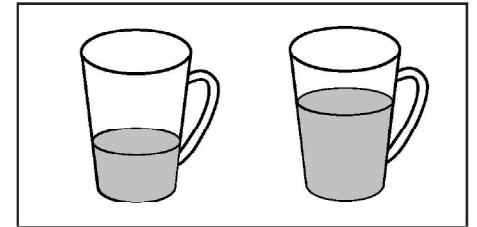


(2)

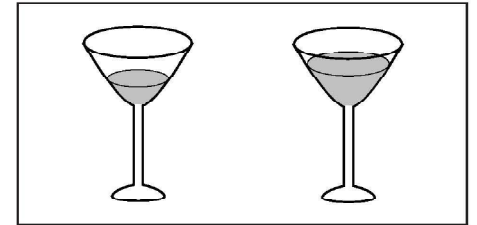


＜ん＜ん 3-5 なまえ（

(3)



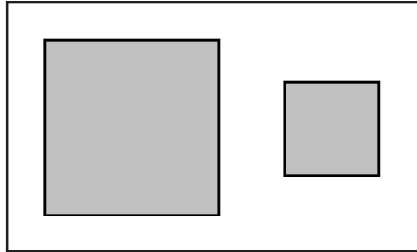
(4)



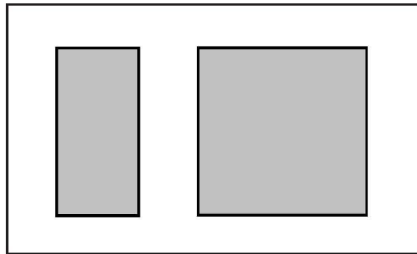
)

ひろい ほうに ○を つけましょう。

(1)

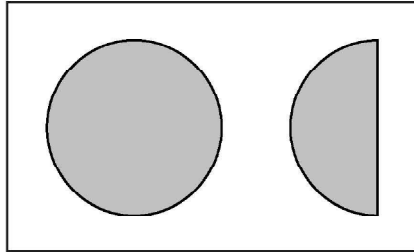


(2)

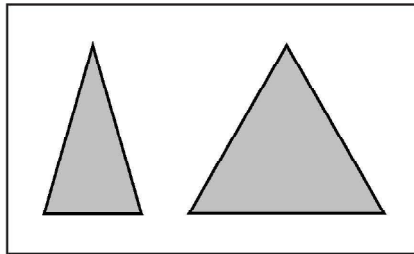


＜ん＜ん 3-6 なまえ（

(3)

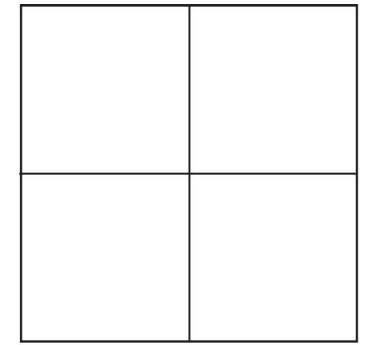
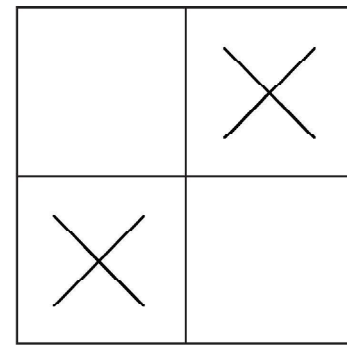


(4)



)

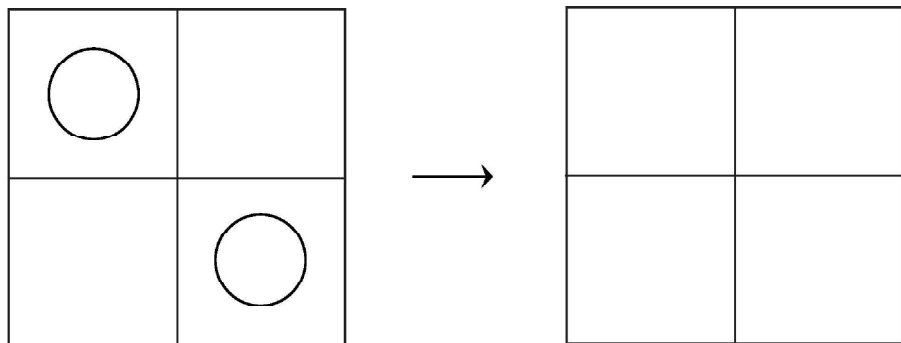
おてほんとおなじように かきましよう。



＜ん＜ん 3-7 なまえ（

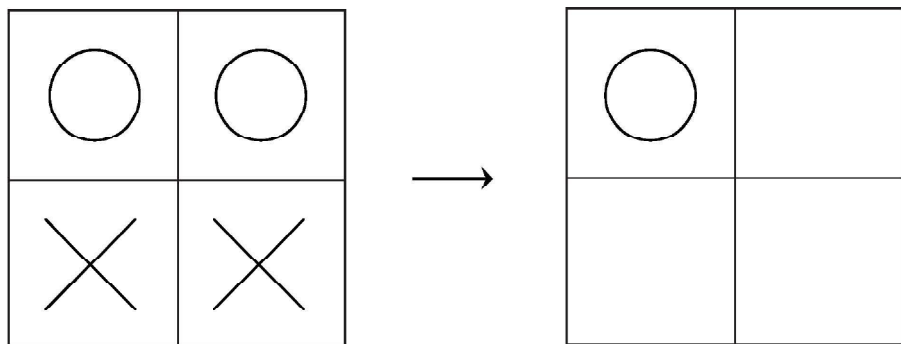
)

おてほんとおなじように かきましょう。



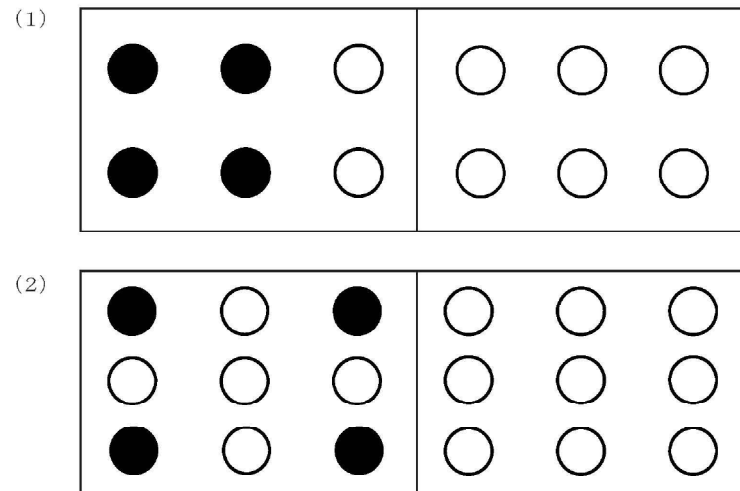
くんとくんと 3-8 なまえ ()

ひだりとおなじになるように ぬけているところを かきましょう。



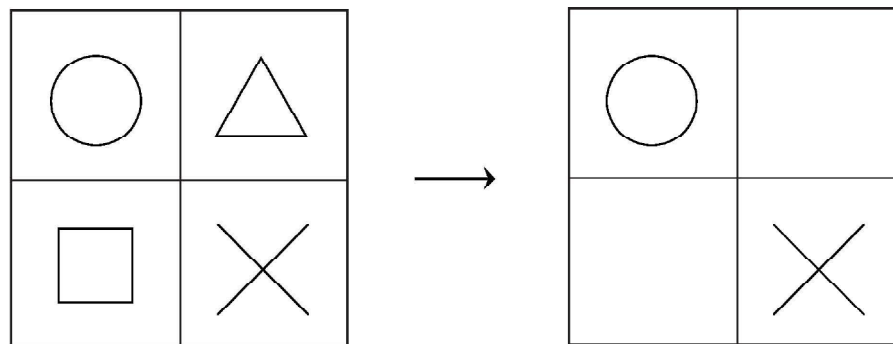
くんとくんと 3-10 なまえ ()

おてほんとおなじように ●をかきましょう。



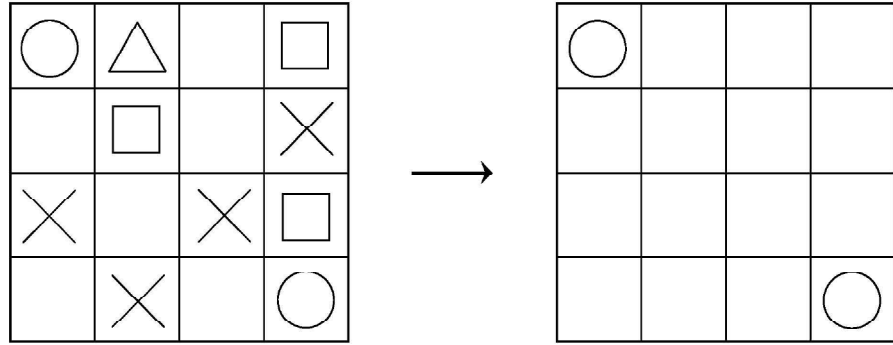
くんとくんと 3-9 なまえ ()

ひだりとおなじになるように ぬけているところを かきましょう。



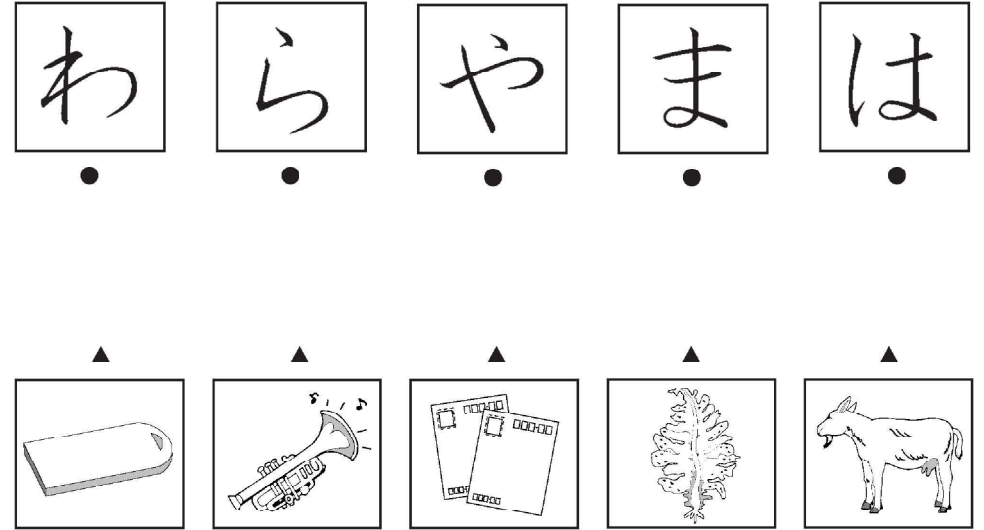
くんとくんと 3-11 なまえ ()

ひだりと おなじに なるように ぬけている ところを かさみましょう。



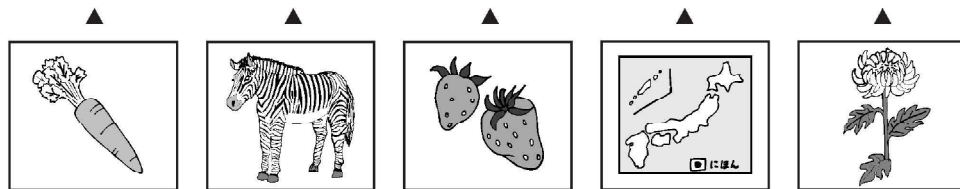
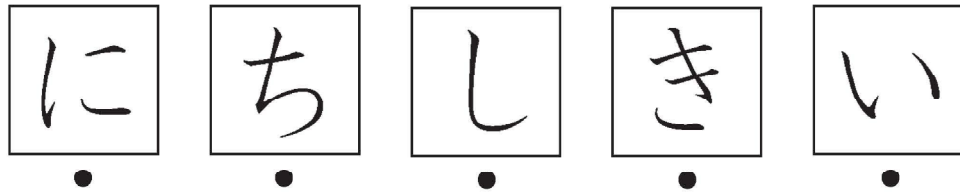
くんくん 3-12 なまえ ()

したの ことばは どの もじで はじまりますか。——で おすびましょう。



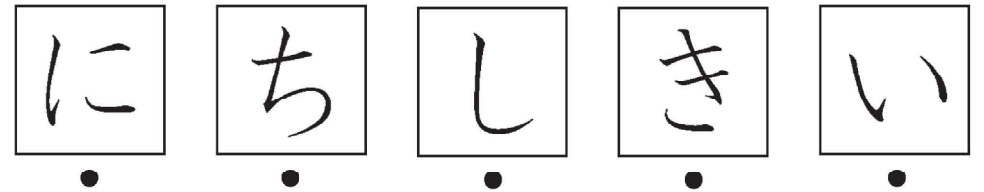
くんくん 3-13 なまえ ()

したの ことばは どの もじで はじまりますか。——で おすびましょう。



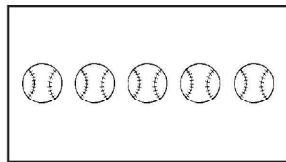
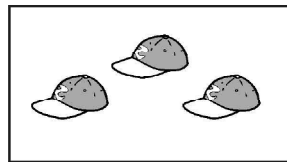
くんくん 3-14 なまえ ()

したの ことばは どの もじで はじまりますか。——で おすびましょう。

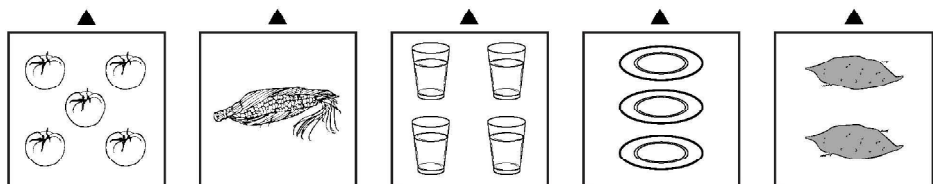
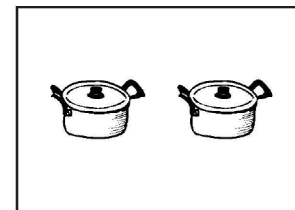
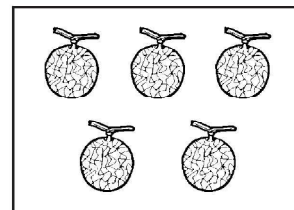
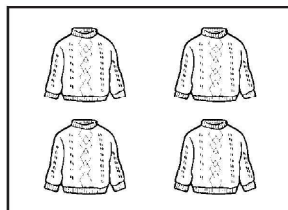


くんくん 3-15 なまえ ()

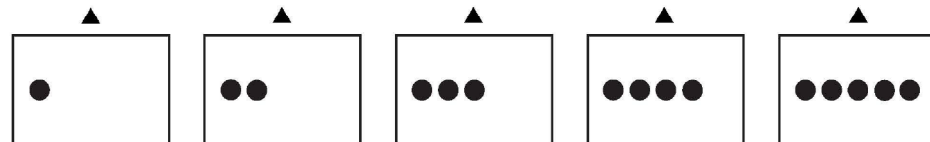
おなじ かずの ものを せんで おすびましょう。



おなじ かずの ものを せんで おすびましょう。

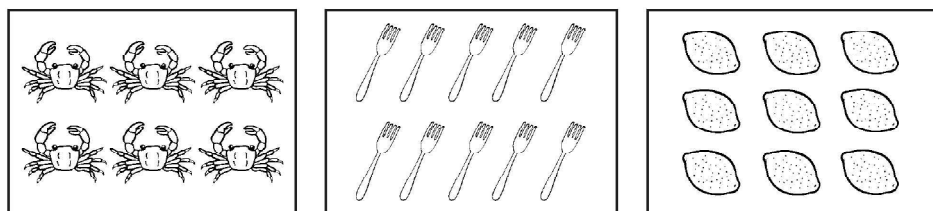


くんとくんと 3-16 なまえ ()

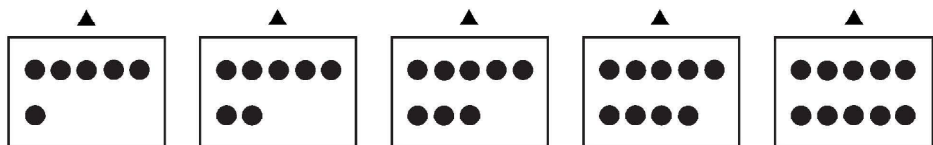


くんとくんと 3-17 なまえ ()

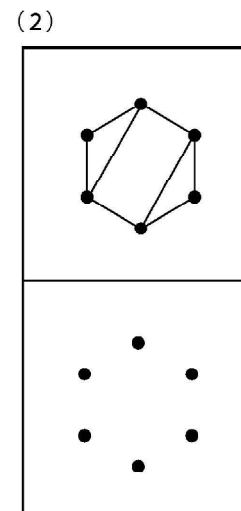
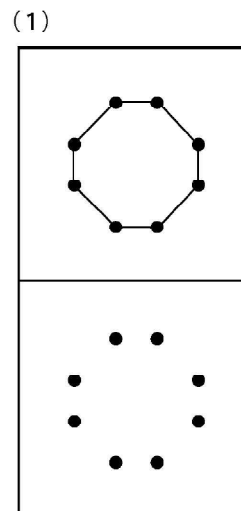
おなじ かずの ものを せんで おすびましょう。



てんを つないで おてほんど おなじ かたちを つくりましょう。



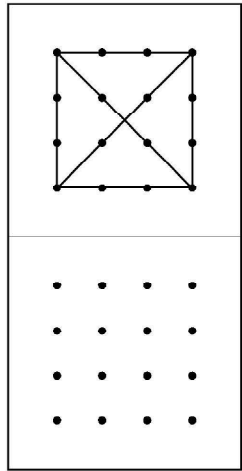
くんとくんと 3-18 なまえ ()



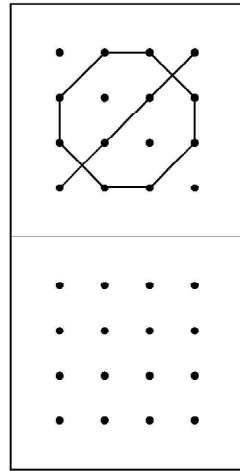
くんとくんと 3-19 なまえ ()

てんを つないで おてほんど おなじ かたちを つくりましょう。

(1)



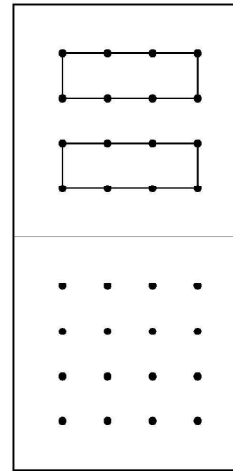
(2)



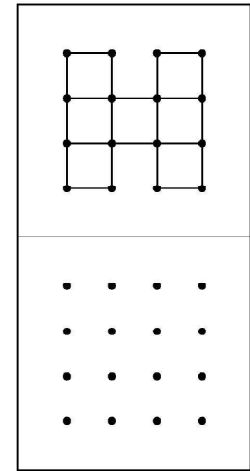
くんくん 3-20 なまえ ()

てんを つないで おてほんど おなじ かたちを つくりましょう。

(1)

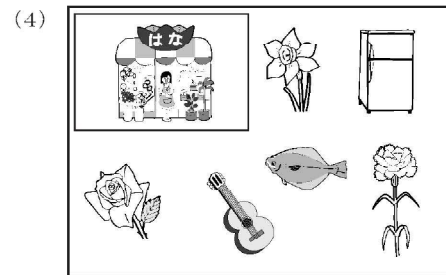
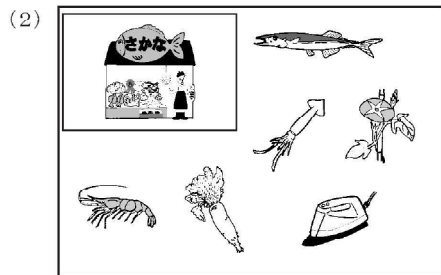
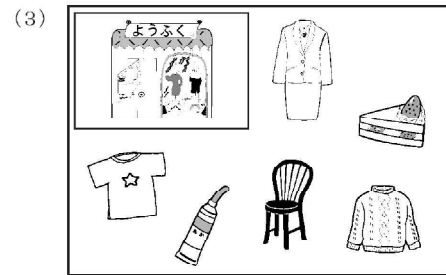
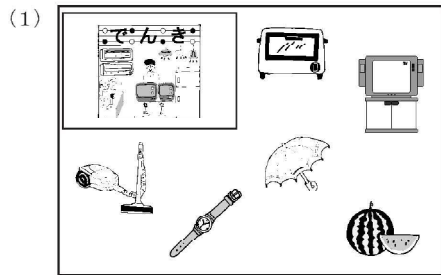


(2)



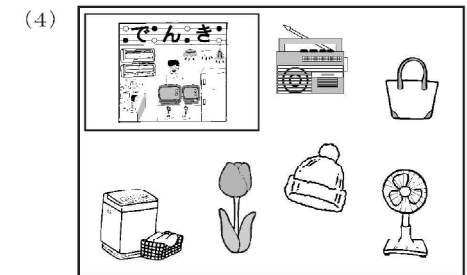
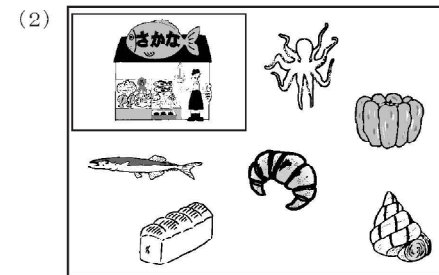
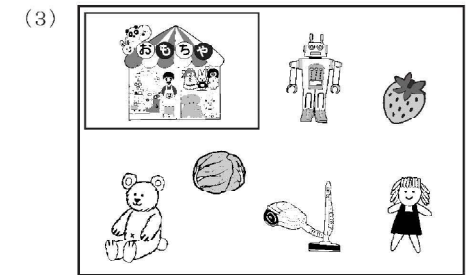
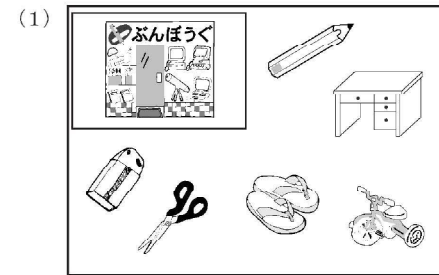
くんくん 3-21 なまえ ()

ひだりうえのおみせで うっている ものに ○を つけましょう。



くんくん 3-22 なまえ ()

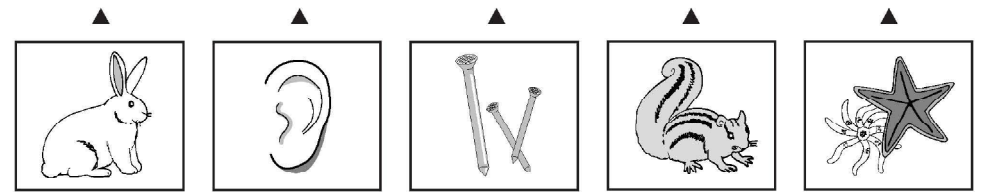
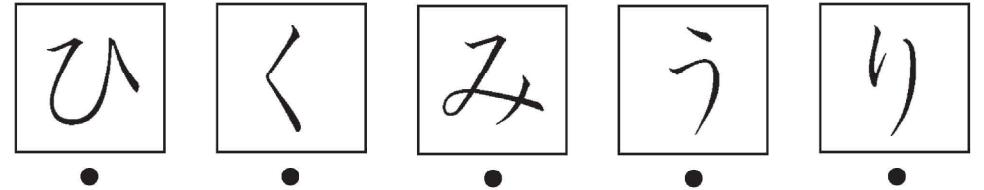
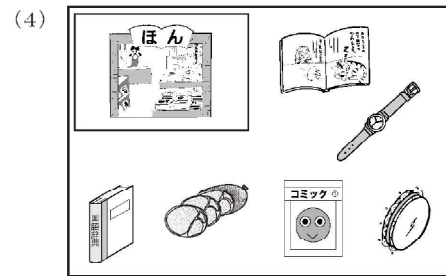
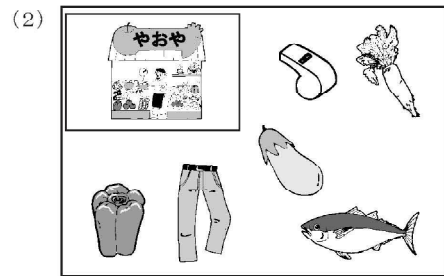
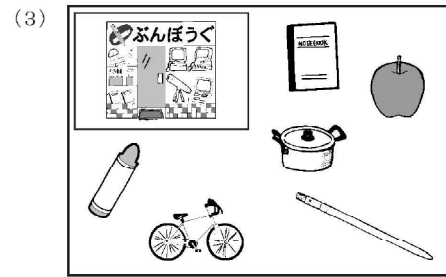
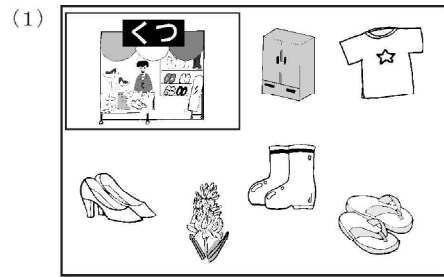
ひだりうえのおみせで うっている ものに ○を つけましょう。



くんくん 3-23 なまえ ()

ひだりうえの おみせで うっている ものに ○を つけましょう。

したの ことばは どの もじで はじまりますか。——で おすびましょう。

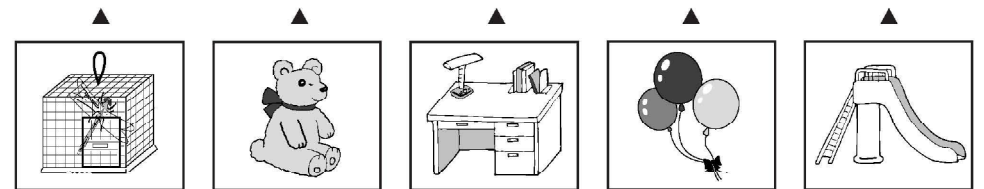
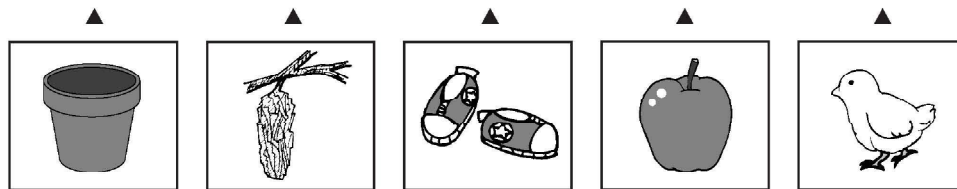
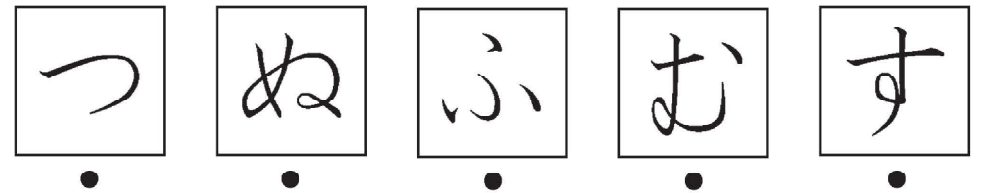
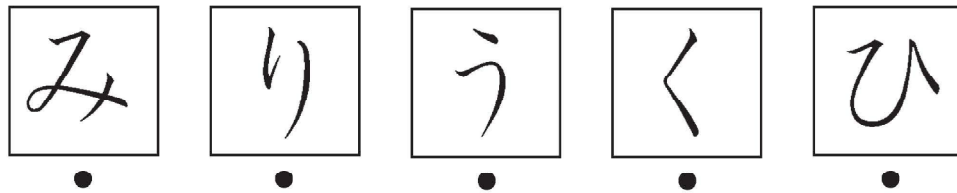


くんく 3-24 なまえ ()

くんく 3-25 なまえ ()

したの ことばは どの もじで はじまりますか。——で おすびましょう。

したの ことばは どの もじで はじまりますか。——で おすびましょう。



くんく 3-26 なまえ ()

くんく 3-27 なまえ ()

ひだりの すうじの かずだけ、 みぎの □に ○を かきましよう。

(1)

4					

(4)

2					

(2)

6					

(5)

10					

(3)

3					

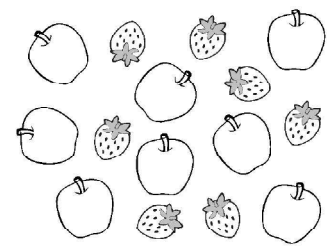


(6)

9					

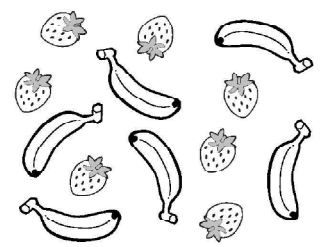


<h><h> 3-28 なまえ ()

いくつ ありますか。 えの かずだけ みぎの □に ○を かきましよう。

(1)

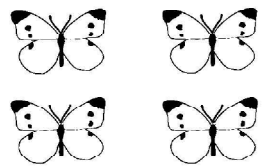
(2)

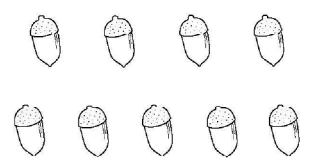
<h><h> 3-29 なまえ ()

いくつ あるでしょう。 そのかずの すうじに ○を つけましよう。

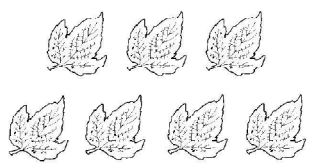
(1)

				
1	2	3	4	5

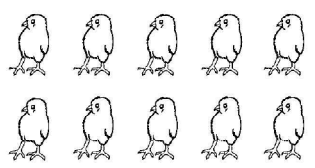
(3)

				
6	7	8	9	10

(2)

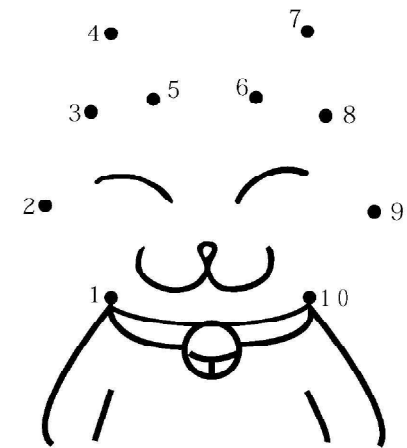
				
5	6	7	8	9

(4)

				
6	7	8	9	10

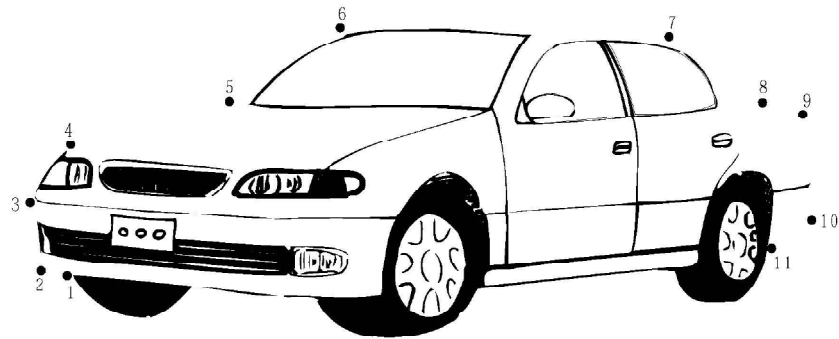
<h><h> 3-30 なまえ ()

1から じゅんばんに てんを つなぎましよう。



<h><h> 3-31 なまえ ()

1からじゅんばんに てんを つなぎましょう。



くんくん 3-32 なまえ ()

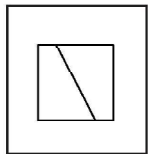
1からじゅんばんに てんを つなぎましょう。



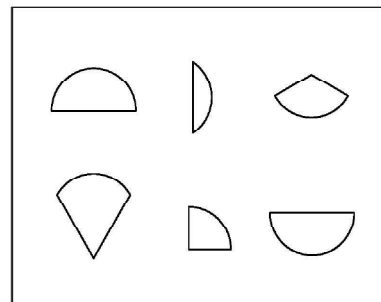
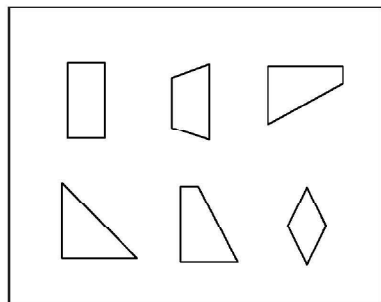
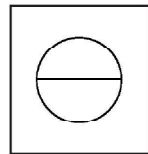
くんくん 3-33 なまえ ()

うえの かたちをつくるのに したの どの かたちを あわせですか。○を つけましょう。

(1)



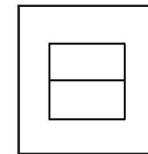
(2)



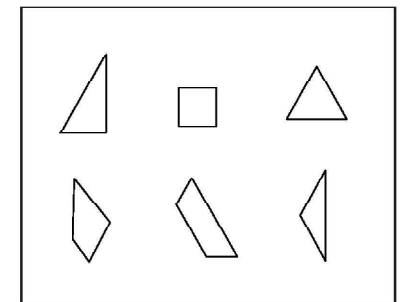
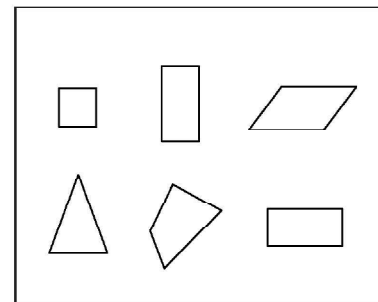
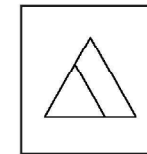
くんくん 3-34 なまえ ()

うえの かたちをつくるのに したの どの かたちを あわせですか。○を つけましょう。

(1)



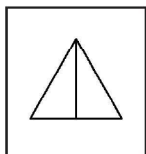
(2)



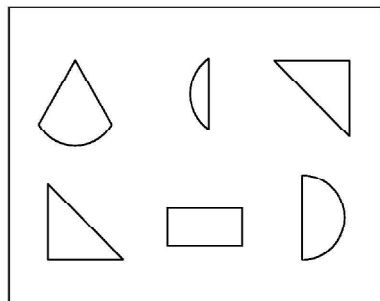
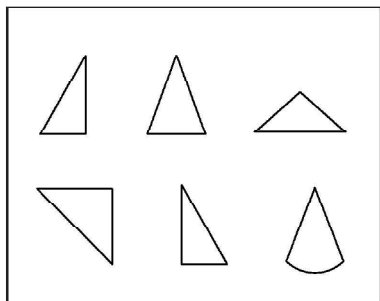
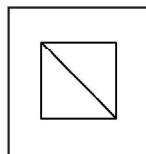
くんくん 3-35 なまえ ()

うえのかたちをつくるのにしたのどのかたちをあわせですか。○をつけましょう。

(1)

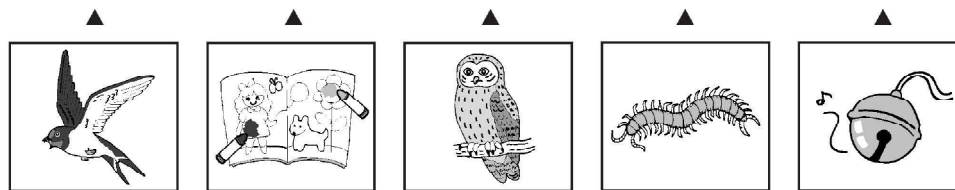
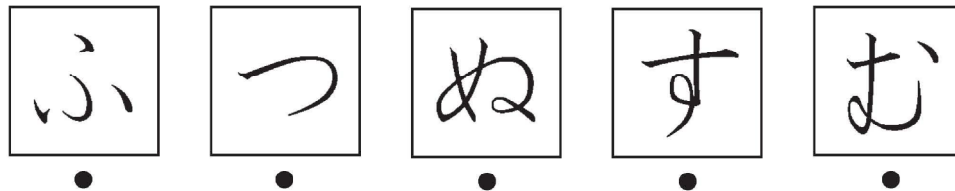


(2)



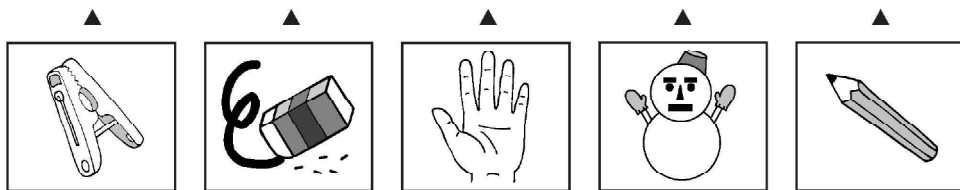
くんくん 3-36 なまえ ()

したのことばはどのもじではじまりますか。——でむすびましょう。



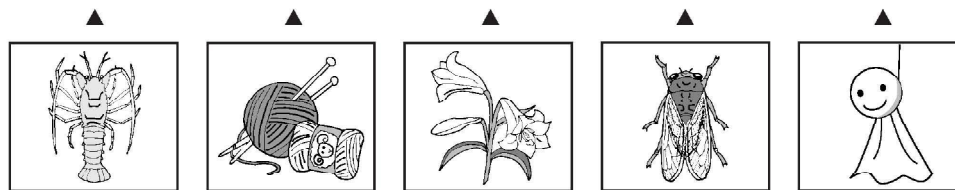
くんくん 3-37 なまえ ()

したのことばはどのもじではじまりますか。——でむすびましょう。



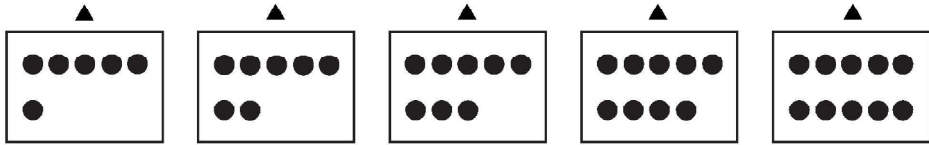
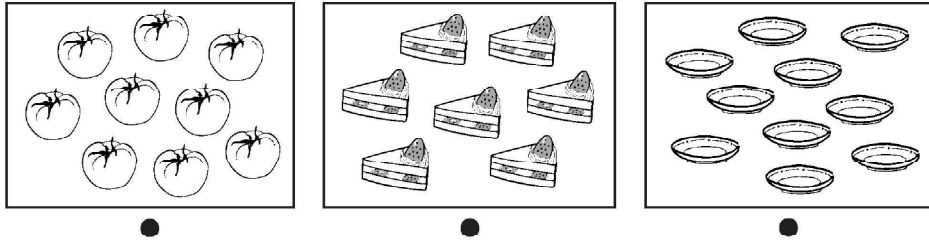
くんくん 3-38 なまえ ()

したのことばはどのもじではじまりますか。——でむすびましょう。



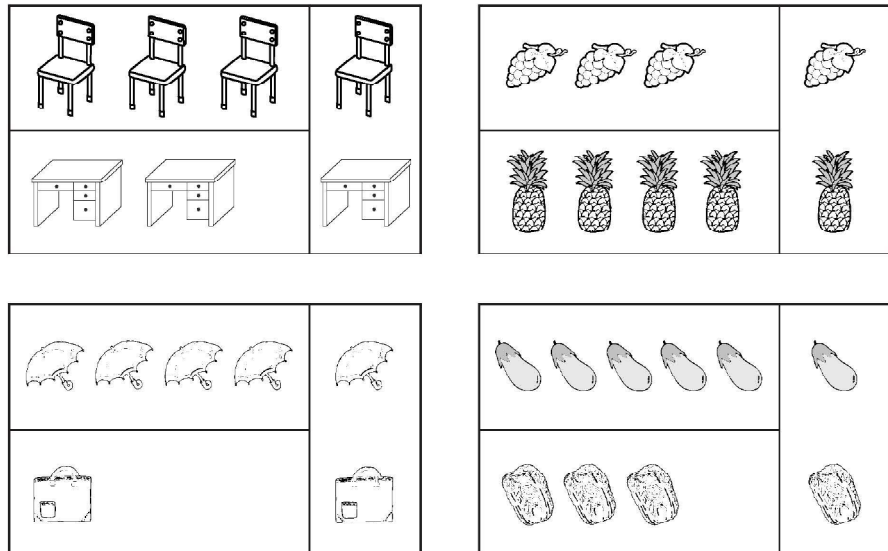
くんくん 3-39 なまえ ()

おなじ かずの ものを せんで むすびましょう。



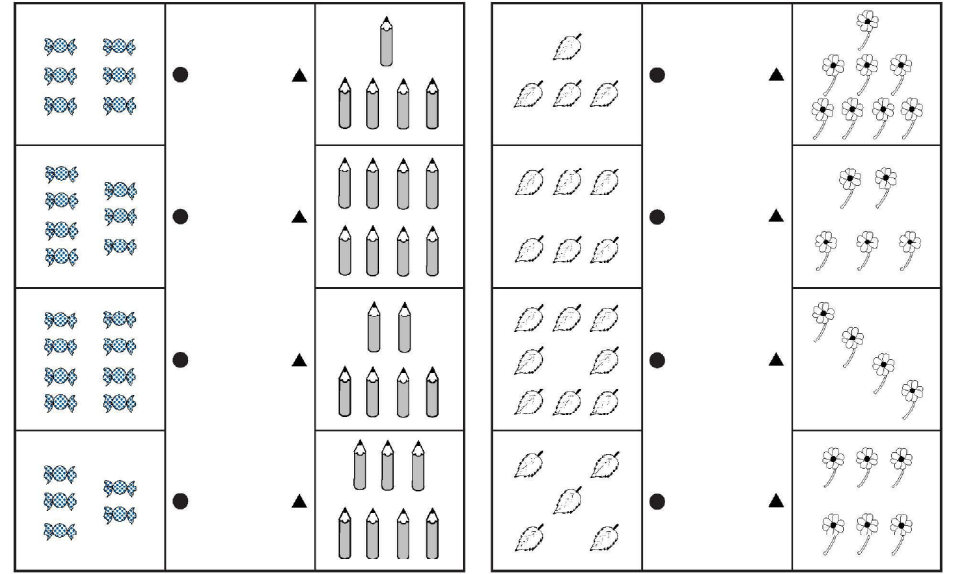
くんとくんと 3-40 なまえ ()

どちらが すくない ですか。 みぎの □の えに ○をつけましょう。



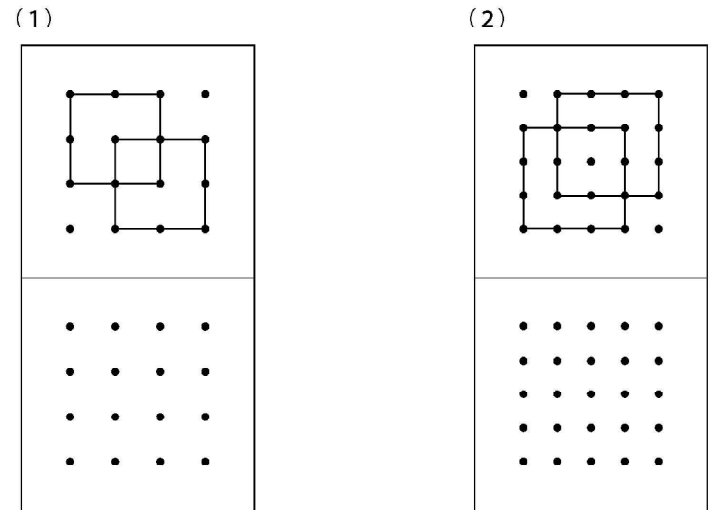
くんとくんと 3-42 なまえ ()

おなじ かずの ものを せんで むすびましょう。



くんとくんと 3-41 なまえ ()

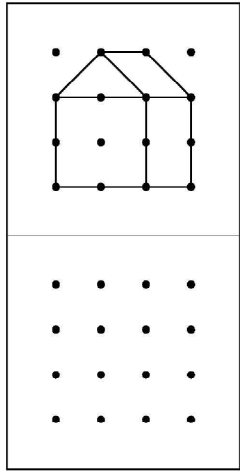
てんを つないで おてほんど おなじ かたちを つくりましょう。



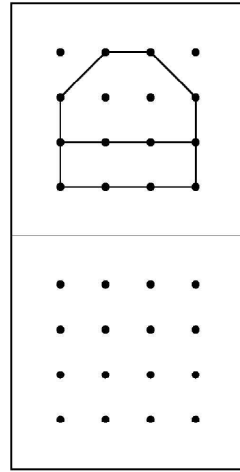
くんとくんと 3-43 なまえ ()

てんを つないで おてほんど おなじ かたちを つくりましょう。

(1)



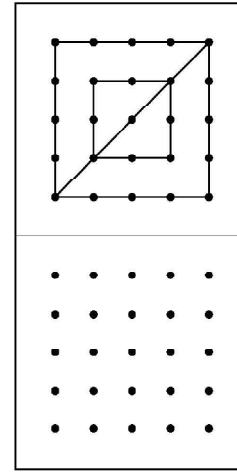
(2)



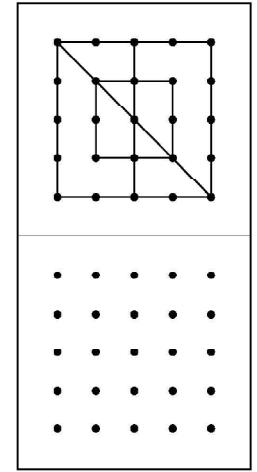
くんぐん 3-44 なまえ ()

てんを つないで おてほんど おなじ かたちを つくりましょう。

(1)



(2)



くんぐん 3-45 なまえ ()

いまは なんがつ ですか。 ○を つけましょう。

一 いち 月 がつ	二 に 月 がつ	三 さん 月 がつ	四 し 月 がつ	五 ご 月 がつ	六 ろく 月 がつ
七 しち 月 がつ	八 はち 月 がつ	九 く 月 がつ	十 じゅう 月 がつ	十一 じゅういち 月 がつ	十二 じゅうに 月 がつ

くんぐん 3-46 なまえ ()

きょうは なんようび ですか。 ○を つけましょう。

日 にち 曜 日	月 げつ 曜 日	火 か 曜 日	水 すい 曜 日	木 もく 曜 日	金 きん 曜 日	土 ど 曜 日
-------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------	-------------------	------------------

くんぐん 3-47 なまえ ()

きのうの ようびに ○を、あしたの ようびに ◎を つけましょう。

日 <small>にち</small>	月 <small>げつ</small>	火 <small>か</small>	水 <small>すい</small>	木 <small>もく</small>	金 <small>きん</small>	土 <small>ど</small>
曜 <small>よう</small>	曜 <small>よう</small>	曜 <small>よう</small>	曜 <small>よう</small>	曜 <small>よう</small>	曜 <small>よう</small>	曜 <small>よう</small>
日 <small>び</small>	日 <small>び</small>	日 <small>び</small>	日 <small>び</small>	日 <small>び</small>	日 <small>び</small>	日 <small>び</small>

ぐんぐん 3-48 なまえ ()

ことば／同頭語

●ひらがなの読み、ことばの名前と一番はじめの音(文字)の確認

まず、上の段のひらがなを一通り読んでおきましょう。そして、下の段の絵の名前と一番はじめの音を確認しながら、あう文字を上から選んで線で結ばせて下さい。

3-1 なべ、たぬき、あさがお、さい、かめ

3-2 たまご、なす、あじさい、さんりんしゃ、からす

3-3 わし、やかん、まくら、らくだ、はし

●同頭語集め

下の絵以外にも、上の文字で始まることばをお子さんに考えさせてみましょう。

(例) 3-1 なし、たいこ、さつまいも、かき、あひる

3-2 ながぐつ、たんす、きる、かたつおり、あしか

3-3 わに、らっこ、やま、まど、はなび

ぐんぐん 3-1、3-2、3-3

かず・りょう／重さ比べ、かさ比べ、広さ比べ

●重さ比べ(3-4)

シーソーの絵では、下に傾いている方が重いことを教えてあげて下さい。絵を見ながら、「くまは重い。犬は軽い。」というように、言葉でくり返してあげましょう。お子さんにいろいろなものを実際に持たせて、「重い」という感覚を理解させてあげて下さい。

●かさ比べ(3-5)

できれば、いろいろな容器に水を入れたり移しかえたりして、実際に水の量を比べて見せてあげましょう。同じ容器に入っている時には、水面の高さが高い方が量が多いということを、しっかり理解させて下さい。

●広さ比べ(3-6)

実際に紙を切って、重ね合わせて広さを比べましょう。

一キ

ぐんぐん 3-4、3-5、3-6

ずけい／横写

●位置と種類を確認して、同じようにかく(3-7、3-8)

印を書き入れる位置と、印の種類をしっかりと確認して書きましょう。左手でお手本の印を1つずつ指でおさえながら、右側の同じ位置に正確に印を書き入れます。書いたら、印のある位置を言葉で説明させるとよいでしょう。集中して取り組ませましょう。

●お手本と同じ位置の○を黒くぬる(3-9)

左手でお手本の●を1つずつ指でおさえながら、右側の同じ位置にある○を黒くぬっていきましょう。色をぬる時は、まず円のりんかくをなぞり、うすく○全体に色をつけておきます。色をぬるべき全部の○に一通りうすく色をつけてから、時間があれば色をこくぬっていきましょう。

ぐんぐん 3-7、3-8、3-9

●位置と種類を確認して、同じようにかく

印を書き入れる位置と、印の種類をしっかりと確認して書きましょう。
左手でお手本の印を1つずつ指でおさえながら、右側の同じ位置にかけたら、印のある位置を言葉で説明させるとよいでしょう。正確に印を書き入れます。集中して取り組ませましょう。

●時間をはかって取り組ませる

横写の問題では、正確にすばやく作業する力をつけることをねらいとしています。ここでは、時間内にやれるかどうかを見て下さい。指導者は「用意、はじめ」「やめ」と声をかけて合図をします。

制限時間は、3-10と3-11は各30秒、3-12は1分を目安にして下さい。

ぐんぐん 3-10、3-11、3-12

かず・りょう／同数発見（10までの数）

●絵の数の数え方

数える時には、左はしから1つずつ絵に印をつけながら、「1、2、3、4」と声を出して数えます。まず、指導者がお手本を見せて、その後でお子さんといっしょに数えてみましょう（指をもってあげても結構です）。ゆっくり数えて、指と声をしっかり対応させて下さい。

絵が横一列に並んでいない場合は、左上、右上、左下、右下の順に、数えます。

●同じ数のものをさがす

まず、下の段の絵の数をお子さんといっしょに確認してから、上の段の絵の数を数えて、同じ数のものをさがします。

食べものや動物などの具体物だけでなく、ドッツ（黒丸）のような半具体物の数も数えられるように練習しましょう。

ぐんぐん 3-16、3-17、3-18

●ひらがなの読み、ことばの名前と一番はじめの音（文字）の確認

まず、上の段のひらがなを一通り読んでおきましょう。そして、下の段の絵の名前と一番はじめの音を確認しながら、あう文字を上から選んで線で結ばせて下さい。

3-13 まないた、らっぱ、はがき、わかめ、やぎ

3-14 にんじん、しまうま、いちご、ちず、きく

3-15 ちりとり、いか、きって、しんぶん、にわとり

●同頭語集め

下の絵以外にも、上の文字で始まることばをお子さんに考えさせてみましょう。

(例) 3-13 あなげ、らくだ、やきゅう、まめ、はし

3-14 にわ、ち（血）、しんぶん、きしゃ、いと

3-15 にんぎょう、ちまき、しんかんせん、きいろ、いし

ぐんぐん 3-13、3-14、3-15

ずけい／点つなぎ

●点をつないでかく時の注意

お手本をよく見て、どの点とどの点をつなぐのかを確認しながらかくことが大切です。角の点からかき始め、外側の線からひいていくのが、かき方の基本です。線をひく時は、点の中心と点の中心をつなぐようにし、できるだけまっすぐにかきましょう。線の途中で手をはなさないで、続けてかいていきましょう。水平・垂直の線は比較的にかきやすいのですが、ななめの線はおずかしいので、どこどこを結ぶのか特に注意してかかせて下さい。

「点つなぎ」は1点と1点をつないでいく作業ですが、どんな図形になるか、しあがりの図形を思い描きながら点をつなぐことが大切です。

●時間をはかって取り組ませる

点つなぎに慣れてきたら、正確に「すばやく」作業できるように練習しましょう。指導者は、「用意、はじめ」「やめ」と声をかけて合図をします。制限時間は、各ページとも1分間を目安にして下さい。

ぐんぐん 3-19、3-20、3-21

●いろいろなお店があることに興味を持たせる

最近では、「〇〇屋」というお店が少なくなっているようですが、スーパーなどの売り場を含めて、どんなお店があるか、そこでどんなものを売っているか、お子さんと一緒に考えてみましょう。

お店について学習すると、ものの仲間分けがより具体的によく理解できるようになります。

●店の名前と売っている品物を確認する

まず、左上の絵を指さしながら店の名前を言い、そこで売っている品物をお子さんにえらばせましょう。

3-22 (1) でんきや(電気を使う道具を売る): オープンスター、そうじき、テレビ

(2) さかなや(魚を売る): さんま、いか、えび

(3) ようふくや(洋服を売る): スーツ、Tシャツ、セーター

(4) はなや(花を売る): スイセン、ばら、カーネーション

3-23 (1) ぶんぼうぐや(文房具を売る): 鉛筆、消しゴム、はさみ

(2) さかなや(魚を売る): たこ、さんま、貝

(3) おもちゃや(おもちゃを売る): ロボット、ぬいぐるみ、人形

(4) でんきや(電気を使う道具を売る): ラジオ、せんたくき、せんぶうき

3-24 (1) くつや(靴を売る): ハイヒール、長靴、ぞうり

(2) やおや(野菜や果物を売る): 大根、ピーマン、なす

(3) ぶんぼうぐや(文房具を売る): ノート、クレヨン、筆

(4) ほんや(本を売る): 絵本、辞典、まんが

ぐんぐん 3-22、3-23、3-24

●ひらがなの読み、ことばの名前と一番はじめの音(文字)の確認

まず、上の段のひらがなを一通り読んでおきましょう。そして、下の段の絵の名前と一番はじめの音を確認しながら、あう文字を上から選んで線で結ばせて下さい。

3-25 うさぎ、みみ、くぎ、りす、ひとで

3-26 うえきばち、みのおし、くつ、りんご、ひよこ

3-27 おしかご、ぬいぐるみ、つくえ、ふうせん、すべりだい

●同頭語集め

下の絵以外にも、上の文字で始まることばをお子さんに考えさせてみましょう。

(例) 3-25 ひまわり、くつした、みず、うみ、りんご

3-26 みどり、りんどう、うし、くるま、ひなまつり

3-27 つめ、ぬりえ、ふる、むし、すず

ぐんぐん 3-25、3-26、3-27

かず・りょう／数える(10までの数)

●数字の数だけ○をかく(3-28)

数字で表わされた数を、○で置き換える問題です。○をかくときには、声を出して、「1、2、3…」と数えながら、○を1つずつかきましょう。○は、上の段の左はしから、順にかきましょう。数える声と印をかく手が、きちんと対応しているかどうか、注意してあげて下さい。答あわせの時には、○がいくつあるか、お子さんにもう一度数えさせて、あっているかどうか確認させましょう。

●絵の数を数える(3-29、3-30)

それぞれの絵に印をつけながら、数え忘れや重複がないように、声を出して数えましょう。

3-29では、絵の数を数えながら○を1つずつかいていきます。まず、指導者がお手本を見せてあげて下さい。

お子さんが数える時は、印をつける手と数える声がうまく合うように、指導者が声をかけながらゆっくり数えさせるとよいでしょう。

ぐんぐん 3-28、3-29、3-30

ずけい／点つなぎ

●1から10まで順に点をつなぐ

1から10まで順番に、とばさずに点をつないでいくことが大切です。

「1、2」と声を出して数えながら、点を線でおすんでいきましょう。

●点をつないでかく時の注意

線をひく時は、点の中心と点の中心をつなぐようにし、できるだけまっすぐにかきましょう。線の途中で手をはなさないで、続けてかいていきましょう。どんな絵ができるか、思い描きながら点をつないでいくことが大切です。

●絵に色をぬる

点をつなぎ終えたら、できた絵に色鉛筆などで色をぬらせるとよいでしょう。ぬり絵は、楽しみながら運筆力をつけるよい練習になります。

ぐんぐん 3-31、3-32、3-33

●教具を使った形遊び

図形の力は、実際に「手」を使ってたくさん形遊びをすることで育ってきます。教育デザイン研究所の「かたちはかせ」などの図形パズルで、手先を使って遊ぶことで右脳の働きを活発にし、図形の構成力をのばします。

●どれとどれを合わせると、上の形が作れるか

上の形（正方形、円、三角形）の分割線をヒントに、考えさせるとよいでしょう。色紙などで同じ形を作って、お子さんの目の前で、いろいろに形をあわせて見せてあげるとよいでしょう。

ぐんぐん 3-34、3-35、3-36

●同じ数のものをさがす（3-40、3-41）

まず、それぞれの絵やドッツ（黒丸）の数をお子さんといっしょに確認してから、同じ数のものをさがして線でおすびしましょう。

先に、それぞれの絵の数を数えてから、同じ数のものを線で結びます。数える時は、絵に1つつ印をつけながら、「1、2、3…」と声を出して数えます。数え忘れや重複がないように、しっかりかぞえるよう、注意してあげてください。「10」までの数がしっかり数えられるように、身近なものを使って数える練習を続けましょう。

●1つつ対心させて、どちらが少ないかを考える（3-42）

ここでは、上と下の絵を1つつ線で結んで、どちらが少ないかを考えてみましょう。1つつ線で結んであまった方が、あまった数だけ多いこととなります。

答えあわせの時には、それぞれの絵の数も数えて確認しておきましょう。

ぐんぐん 3-40、3-41、3-42

●ひらがなの読み、ことばの名前と一番はじめの音（文字）の確認

まず、上の段のひらがなを一通り読んでおきましょう。そして、下の段の絵の名前と一番はじめの音を確認しながら、あう文字を上から選んで線で結ばせて下さい。

3-37 つばめ、ぬりえ、ふくろう、むかで、すず

3-38 せんたくばさみ、けしごお、て（手）、ゆきだるま、えんぴつ

3-39 えび、けいと、ゆり、せみ、てるてるぼうず

●同頭語集め

下の絵以外にも、上の文字で始まることばをお子さんに考えさせてみましょう。

（例） 3-37 ふゆ、つばき、ぬいぐるみ、すみれ、おね

3-38 ゆき、えほん、けむり、せんせい、てがみ

3-39 けんだま、えんとつ、ゆび、て（手）、せんたくき

ぐんぐん 3-37、3-38、3-39

●点をつないでかく時の注意

たて、よこの点の数が4つ、5つの点つなぎの問題です。点の数がふえてきたので、お手本をよく見て、どの点とどの点をつなぐのかを確認しながらかくことが大切です。角の点からかき始め、外側の線からひいていくのが、かき方の基本です。線をひく時は、点の中心と点の中心をつなぐようにし、できるだけまっすぐにかきましょう。線の途中で手をはなさないで、続けてかいていきましょう。水平・垂直の線は比較的かきやすいのですが、ななめの線はわずかしいので、どこどこを結ぶのか特に注意してかかせて下さい。

「点つなぎ」は1点と1点をつないでいく作業ですが、どんな図形になるか、しあがりの図形を思い描きながら点をつなぐことが大切です。

●時間をはかって取り組ませる

点つなぎに慣れてきたら、正確に「すばやく」作業できるように練習しましょう。指導者は、「用意、はじめ」「やめ」と声をかけて合図をします。制限時間は、各ページとも1分間を目安にして下さい。

ぐんぐん 3-43、3-44、3-45

●曜日や月に興味を持たせる

まず、指導者が漢字を一つずつ指さしながら、一年の月や一週間の曜日を言ってあげてください。その後で、お子さんにくり返させましょう。授業の始めなどにも、カレンダーを見て、少しずつ「月」「日」「曜日」を意識させていくとよいでしょう。「今日」の曜日がわかったら、「昨日」や「明日」が何曜日かも、考えてみましょう。

●漢字の読みについて

漢字は、無理に覚えさせなくてもかまいません。身近なものをテキストで少しずつとりあげていきますので、その都度一緒に読み方を練習して下さい。お子さんが興味を持って見るようになれば、漢字はどんどん覚えられます。

ぐんぐん 3-46、3-47、3-48

ぐんぐん 3号

企画・著作 松本敏史

(教育デザイン研究所)

大阪府南河内郡早赤阪村小吹68-115

0721-70-2050

改訂版制作日 2015年11月20日

本書の無断複写・複製・転載を禁じます。